

・ブラジルなどでジカ熱の患者が増加

ジカ熱はネッタイシマカなどの蚊に媒介される熱性疾患で、デングウイルスと近縁のウイルスによっておこります。アフリカやアジアが本来の流行地でしたが、2013 年から南太平洋で大きな流行が発生しました。また、2014 年にはアメリカ大陸に上陸し、ブラジルなどで患者数が急増しています。12 月中旬の時点で患者発生が認められた国は、ブラジルのほかに南米のコロンビア、ベネズエラ、ウルグアイ、スリナム、中米のエルサルバドル、グアテマラ、メキシコ、パナマ、ホンジュラスとなっています (Europe CDC 2015-12/18、WHO GAR 2015-12/21,22)。また、ブラジルでは、妊婦のジカウイルス感染によると推定される小頭症(頭部が小さくなる奇形)の出生児が 11 月から増加しており、12 月中旬までに 2401 人の患児が確認されています (Europe CDC 2015-12/18)。このうちの 874 人はペルナンブコ州での発生です。さらに、神経疾患であるギランバレー症候群を併発した事例も増えているとの報告があります。

ジカ熱による小頭症の発生は妊娠初期に感染した場合におきる可能性があります。流行地域に妊娠中の方が滞在する際には、蚊に刺されない対策を十分にとるようにしましょう。なお、2016 年はブラジルのリオデジャネイロでオリンピックが開催されるため、多くの日本からの観光客がブラジルを訪問します。こうした観光客も注意が必要です。

・アジアでのデング熱流行状況

今年、台湾では例年になく規模のデング熱流行がみられていましたが、12 月になり患者発生は鎮静化しています。12 月までに患者数は 4 万人で、このうち 195 人が死亡しました (ProMED 2015-12/10)。タイでも今年は 12 万人の患者が発生していますが、雨季が長く続いたことが患者数増加に影響しているようです (ProMED 2015-12/10)。これ以外にマレーシアで 11 万人、フィリピンで 16 万人と患者数が多く、いずれの国も昨年より患者数が増えています (WHO 西太平洋 2015-12/15)。

なお、サノフィ社が製造しているデング熱ワクチン (Dengvaxia) が 12 月にメキシコで承認されました (ProMED 2015-12/10)。発売までにはまだ時間がかかりますが、発売後は輸入ワクチンとして日本での接種も可能になる模様です。詳細はサノフィ社の HP をご参照ください。

<http://www.sanofipasteur.com/en/articles/dengvaxia-world-s-first-dengue-vaccine-approved-in-mexico.aspx>

・中国での鳥インフルエンザ A (H7N9) 型の流行

中国では 2013 年から沿岸部を中心に鳥インフルエンザ A (H7N9) 型の患者発生がみられています。毎年流行は冬～春にかけて発生していますが、今年は 12 月の患者数が 2 人とあまり多くありません (WHO GAR 2015-12/17)。今後、2 月の春節を中心に患者数が増える可能性もあり、中国

沿岸部に滞在する際は引き続き注意が必要です。

・最近の MERS の流行状況

今年5月～7月に、韓国では MERS(中東呼吸器症候群)の患者が186人発生し、33人が亡くなりました。韓国政府は12月23日にこの流行が終息したことを正式に宣言しました。サウジアラビアでも今年4月～7月に東部 Houfuf の医療機関で40人以上の患者が発生しました。その後も患者が散発していましたが、12月は患者数が3人と減少している模様です(WHO GAR 2015-12/4)。なお、日本の国立感染症研究所は12月の月報(病原微生物検出情報)で MERS の最近の流行状況を報告しています。この解析によれば、MERSウイルスのヒトからヒトへの感染伝播の可能性は高くないとの結果です。

<http://www.nih.go.jp/niid/ja/iasr-sp/2321-iasr-archive/iasr-vol36/6152-iasr-430.html>

・北半球の季節性インフルエンザ流行状況

今季は日本での季節性インフルエンザの流行が例年になく遅れていますが、ヨーロッパ、北米でも本格的な流行はみられていません(WHO influenza 2015-12/14)。一方、イランの南西部では A (H1N1) 型の流行が発生しており、30 人以上が死亡したという情報もあります(ProMED 2015-12/9)。

・ハワイでの Dengue 熱流行状況

ハワイ島のコナ周辺で今年の 9 月から Dengue 熱の流行が発生しています。12 月末までに患者数は 176 人になっており、最近 1 カ月で倍近くに増えています(ハワイ州保健局 2015-12/23)。正月期間中はハワイを訪問する日本からの観光客も増えますが、滞在中は蚊に刺されないように注意する必要があります。